

宮城学院女子大学

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		宮城学院女子大学(学部・学科等の課程)		設置者名	学校法人 宮城学院				
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況(平成30年度)			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
教育学部	教育学科 幼児教育専攻	平成28年度	90人	幼一種免	令和元年度	-	-		-
				幼一種免	令和元年度				
				小一種免	令和元年度				
	教育学科 児童教育専攻	平成28年度	50人	中一種免(英語)	令和元年度	-	-		-
				特支一種免(知・肢・病)	平成28年度				
				中一種免(保健体育)	令和元年度				
				高一種免(保健体育)	令和元年度				
	教育学科 健康教育専攻	平成28年度	30人	養教一種免	令和元年度	-	-		-
				栄教一種免	令和元年度				
生活科学部	食品栄養学科	平成28年度	100人			-	-		-
	生活文化デザイン学科	平成28年度	60人	中一種免(家庭)	令和元年度	-	-		-
高一種免(家庭)	令和元年度								
学芸学部	日本文学科	昭和39年度	100人	中一種免(国語)	令和元年度	73人	20人	14人	6人
				高一種免(国語)	令和元年度			20人	
	英文学科	昭和24年度	70人	中一種免(英語)	令和元年度	77人	8人	8人	5人
				高一種免(英語)	令和元年度			8人	
	人間文化学科	平成7年度	70人	中一種免(社会)	令和元年度	37人	3人	3人	0人
				高一種免(地理歴史)	令和元年度			3人	
				高一種免(公民)	令和元年度			0人	
	心理行動科学科	平成19年度	60人	高一種免(公民)	令和元年度	54人	1人	1人	0人
	音楽科	昭和24年度	25人	中一種免(音楽)	令和元年度	22人	11人	11人	1人
				高一種免(音楽)	令和元年度			11人	
	食品栄養学科	平成12年度	-	栄一種免	平成22年度	98人	31人	21人	9人
養一種免				平成22年度	14人				
生活文化デザイン学科	平成12年度	-	中一種免(家庭)	平成22年度	54人	6人	6人	0人	
			高一種免(家庭)	平成22年度			6人		
発達臨床学科	平成12年度	-	幼一種免	平成22年度	84人	75人	75人	17人	

児童教育学科	平成19年度	-	幼一種免	平成22年度	48人	44人	38人	37人
			小一種免	平成22年度			32人	
国際文化学科	平成12年度	-	中一種免(英語)	平成22年度	78人	6人	5人	0人
			高一種免(英語)	平成22年度			5人	
			中一種免(社会)	平成22年度			1人	
			高一種免(公民)	平成22年度			1人	
入学定員合計		655人	合計		625人	205人	283人	75人
備考	<p>・「学部・学科等の名称等」欄は、平成31年4月1日現在の名称・定員である。</p> <p>・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。</p>							

宮城学院女子大学

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	宮城学院女子大学(研究科・専攻等の課程)			設置者名	学校法人 宮城学院					
研究科・専攻等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況(平成30年度)				
研究科	専攻等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数	
							実数	個別		
人文科学研究科	英語・英米文学専攻	平成7年度	4人	中専免(英語)	令和元年度	0人	0人		0人	
				高専免(英語)	令和元年度					
	日本語・日本文学専攻	平成7年度	4人	中専免(国語)	令和元年度	3人	1人	1人	0人	
				高専免(国語)	令和元年度			1人		
	人間文化学専攻	平成11年度	4人	中専免(社会)	令和元年度	2人	0人		0人	
				高専免(地理歴史)	令和元年度					
				高専免(公民)	令和元年度					
	生活文化デザイン学専攻	平成17年度	4人	中専免(家庭)	令和元年度	1人	0人		0人	
				高専免(家庭)	令和元年度					
	健康栄養学研究科	健康栄養学専攻	平成20年度	4人	養教専免	令和元年度	8人	0人		0人
					栄教専免	令和元年度				
	入学定員合計			20人	合計		14人	1人	2人	0人
備考	・「研究科・専攻等の名称等」欄は、平成31年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各専攻等の実人数、「個別」欄は各専攻等内の教職課程ごとの人数である。									

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：令和元年9月26日（木曜日）

実地視察大学：宮城学院女子大学

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等について、教職課程認定基準等の観点ではおおむね問題なく実施されているものの、教育課程について、「2.」で指摘するように、教職課程認定基準等の観点からは是正すべき点が確認されたため、その点については、速やかに是正すること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教員養成に対する理念・構想を具現化するための教職課程に対する全学的な組織、教育課程及び教員組織をより一層充実させるように努めていただきたい。
- 教職課程委員会を中心に、全学的に一体となって教員養成に取り組んでいる点は評価できる。

2. 教育課程（教科及び教職に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 教育学科幼児教育専攻（幼稚園）及び教育学科児童教育専攻（小学校）は、教職課程認定基準2（5）に定める「教員養成を主たる目的」とする学科等であることが前提である。当該学科等は教職課程認定審査の確認事項1（4）⑤に定めるとおり、卒業要件において幼稚園又は小学校の免許状取得に係る科目が相当程度、必修として位置付けられていることが必要である。
しかしながら、学則、履修規程等において、幼児教育専攻については当該科目の全てが、児童教育専攻小中コースにおいては小学校教諭免許状取得に係るほとんどの科目が、選択科目として位置付けられていることが確認された。今後、「教員養成を主たる目的」とする学科等として、卒業要件における幼稚園又は小学校の免許状取得に係る科目の履修の位置付けを見直すこと。

3. 教育実習の取組状況

- 教育委員会と連携し、ほぼ全ての教育実習先に担当指導教員が巡回指導を行うなど、丁寧な教育実習指導が行われている状況が確認された。引き続き、地元教育委員会・学校と連携を進め、巡回指導を含め、適切な教育実習指導に努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 全学組織である教職センターに主任（専任教授職）として校長・教育委員会勤務経験者を置き、教職センターが中心となって全学向けガイダンスのみならず、定期相談会や随時の個別相談などを通じ、全学的な教職指導の質確保に努めていることが確認された。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 宮城県及び仙台市の教員育成協議会への参加，学校支援をはじめとした多様なボランティア活動への積極的な取組，教育委員会主催研修への学生の参加奨励など，教育委員会と一体となって地域における教員養成に取り組んでいる姿勢は評価できる。今後は，幼稚園教諭の養成における教育委員会等との連携についても，更に検討を進めていただきたい。
- 特に教育学科においては，2年次以降，毎週1回学校に赴き，学校の求めに応じて必要とされる種々の教育活動に従事する科目を設け，2年次から4年次まで再履修可能とするなど，早い段階から教職の魅力や教師としての適性等を把握しうるよう工夫していることが確認された。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 教職関連図書・雑誌については，充実し（おおむね整備され）ている。教職を志す学生が，教育に関する最新の情報を入手することができるように，引き続き図書環境の充実に努めていただきたい。
- 教職課程の科目に係る基本的な施設について，整備・充実している状況が確認された。なお，今後の教育方法の更なる充実のため，ICT環境等の整備充実に計画的に取り組んでいただきたい。

7. その他特記事項

- 敷地内に併設された同一法人が設置する認定こども園，中学校，高等学校との協働的な学びについて，検討を進めていただきたい。